

令和6年度 学校評価自己評価表（川地小学校）

中期経営目標		短期経営目標	達成目標	取組・方策
【確かな学力】	基礎学力の定着とそれを基盤にした思考力・判断力・表現力の育成を図る。	主体的に学習に取り組む態度を育成する。	・単元末テストの平均点を,算数科は知識・技能85点以上,思考力・判断力・表現力75点以上,国語科は知識・技能,思考力・判断力・表現力ともに80点以上の児童の割合を70%以上にする。 ・「算数の時間に『解いてみたい』『考えたい』と思う」児童の割合を80%以上にする。	・基礎学力定着のために宿題や補充プリントの内容,ドリルタイムの活用を工夫する。 ・算数科の教材分析を通して,単元で身に付ける数学的な見方・考え方とその系統性を明らかにする。 ・1年間を通して,2学年ずつのブロックに分かれ,日常的に教材研究を行ったり,授業を見合ったり,基礎学力充実のための交流をして授業改善を図る。
		自分の考えや思いを,適切な言葉を用いて表現する力を育成する。(表現・判断)	・自分の思いや考えを適切な言葉を用いて文章に表し,伝えることができる。 ・「以前より自分の考えをことばで表現できるようになった」児童の割合を80%以上にする。	・週末は宿題で作文を書き,月曜日の「かくぞう朝会」において,各学級で交流をし,自分の考えが伝わるような書き表し方ができているか考える。また,友達の文章の良いところを見つけ,自分の文章に活かす。 ・火曜日の読み聞かせ朝会で「考え読み」をし,多くの文章に触れ,学級で考えながら読み聞かせることで文章読解力を身に付ける。
【豊かな心と健やかな体】	共感しあい,主体的にたくましく生きる児童の育成を図る。	本校児童に育成したい資質・能力である「共感力」「主体性」を意識し,高めようとする児童を育成する。	・学校行事において,自己の目標を達成できたと感じる児童の割合を80%以上にする。 ・自他を大切にすることができたと感じる児童の割合を70%以上にする。	・運動会・学習発表会等の行事や日常生活の中で,各学年共通の振り返りシートを学期に1回以上活用し,めあてを立てさせ,自己評価させる。 ・友達との関わりについて学期に1回児童にアンケートを取り,自分を振り返るとともに人間関係づくりトレーニング等を通して人との関わり方を深める。
		自分の心や身体に関心を持ち,健康づくりに取り組む児童を育成する。	・3快チャレンジにおいて,学年別おすすめ就寝時刻を守る児童の割合を80%以上,朝食を食べて登校する児童の割合を90%以上,朝うんちをして登校する児童の割合を60%にする。 ・新体力テスト(年2回)の記録において,前回の総合点数を上回った児童の割合を80%以上にする。	・3快チャレンジのチェック項目に「朝6時半までに起きる」を新たに加えて,早起きを意識して朝食や排便の時間にゆとりを持てるように意識させる。 ・児童の実態に即した内容の保健指導を学期に1回以上行い,意識向上を図る。保護者に対しては,保健だよりや学級通信,学級懇談会等で啓発する。 ・全校遊びや体育の授業(準備体操),業間体育(3分間ランニング)を通して,昨年度課題だった持久力・瞬発力の向上に取り組む。 ・新体力テストの結果を児童に周知し,目的・課題意識をもたせ,日々の体力向上に取り組む。
【信頼される学校】	保護者・地域から信頼される学校をつくる。	保護者の学校に対する満足度の向上を図る。	・保護者アンケート(年2回)で学校への満足度を90%以上にする。 ・各種たより,HP更新を月1回以上行う。 ・川地保育所・青河小学校・川地中学校との連携を学期に1回以上行う。	・各種便り,HP等を通して学校の様子がよく分かるように情報発信する。 ・保・小・中で交流し,連携しながら教育活動の質の向上を図るとともに,スムーズな接続を図ることができるようにする。
		教職員の授業力と組織力の向上を図る。	・教職員アンケート(年2回以上)で肯定的評価している職員を80%以上にする。(授業改善,情報共有し組織として機能,学校経営に参画,分掌の協力)	・各種研修会に参加し,1回以上は校内へ還流するとともに,校内においては年間2回の授業研究(グロックも含む)を行う。 ・分掌部会を月1回以上実施し,分掌内で協力をしながら見通しをもって文章提案を行う。(責任と組織的)